

保護者様

駒場小学校長  
北島 加奈子

### マイコプラズマ肺炎について（お知らせ）

日ごろから皆様におかれましては、学校の感染症対策にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、9月下旬頃より、豊田市内のマイコプラズマ肺炎の患者数が増加しております。

マイコプラズマ肺炎は、5歳以上で特に10～15歳のお子さんに多く、夏から秋にかけて発生し、再感染も多くみられる疾患です。

**お子さんにせき・発熱やのどの痛み、頭痛など普段と違う症状があった場合には、無理に登校せず、医療機関に受診することをご検討ください。**

学校では感染拡大を防止するため、以下の感染対策を行っています。

今後も、お子様の安心・安全な教育環境の確保のため、引き続きご家庭のご理解とご協力ををお願いいたします。

#### 記

##### 1. マイコプラズマ肺炎とは

###### 【症状】

せき・発熱・頭痛等のかぜ症状がゆっくりと進行し、特にせきはだんだん激しくなります。しつこいせきが、3～4週間つづくこともあります。中耳炎・鼓膜炎や発しんを伴うこともあります。重症例では、呼吸困難になることもあります。

###### 【予防策】

一般的な感染対策は、以下のとおりです。

- ① 石けんを使って、手洗いをしっかりと行う
- ② 症状がある人との密接な接触を避け、タオル等の共用はしない
- ③ 症状が現れたら、早めに医療機関を受診する

##### 2. 学校における感染対策について

###### （日常的な対策）

- ・咳やくしゃみをする際の「咳エチケット」実施の指導
- ・適切な換気の実施
- ・接触感染を避けるための手洗い等の衛生指導手洗いの実施  
(学校内でマイコプラズマ肺炎等感染症の増加傾向がみられた場合の対策)
- ・一時的にマスクの着用について配慮を依頼

※熱中症リスクが高い時には、お子様の様子を観察し、呼吸が苦しい等体調の異変を確認した時には、必要に応じてマスクを外すよう対応します。ご家庭でも、「息苦しいとき」・「暑いとき」等は、マスクを外してもよいことをお伝えください。

- ・一時的に触れ合わない程度の身体的距離の確保
- ・一時的に学習活動において「対面」「大声」での発声や会話を控える